

# 第2回 ほこみち長崎未来検討委員会

## 目 次

1. “ほこみち 長崎未来シンポジウム 2024”の開催状況	1
2. 関係者へのヒアリング調査結果	6
3. シンポジウムとヒアリング結果のまとめ	9
4. 県庁舎跡地でのイベント状況	10
5. 国道34号の幅員構成	12
6. 道路交通状況	13
7. 指定区間の空間再配分のパターン(例)	15
8. 今後の進め方(案)	17

令和6年3月11日

# 1. “ほこみち 長崎未来シンポジウム 2024”の開催状況

- ・長崎における「ほこみち」の可能性について、地域の皆様とともに考えていくための“ほこみち 長崎未来シンポジウム2024”を開催

【日 時】 2024年2月10日(土) 14:00～16:00

【場 所】 長崎市立図書館 多目的ホール

【参加人数】 57名

## 主な内容

### ①基調講演

テーマ：岬のエリアの歴史

講演者：山口 広助 氏(長崎の歴史風俗研究家)

…国道34号が位置する岬のエリアは「長崎発祥の地」であることから、地元TV番組にも出演され、まちあるきガイドとして活躍されている山口広助氏に、「岬のエリアの歴史」についてご講演頂きました。

### ②トークセッション

テーマ：長崎におけるほこみちの可能性

登壇者：荒木 将博 氏(興善町自治会会長)、美咲 氏(地方創生型インフルエンサー)、江口 忠宏 氏(N-TIP)

コーディネーター：平山広孝 氏、岩本 諭 氏(ほこみち長崎未来検討委員会委員)

…各分野でご活躍されている方々に、長崎における「ほこみち」の可能性として意見交換いただきました。「エリアには石碑が多いので、歴史の価値を道の視点から発信」、「ミニ長崎街道といった特徴をつけて、歩くだけで楽しい道」、「歩道が広くなれば、くんちの庭見世の会場として活用」、「高台にあるので、歩道上に防災ベンチ等の設置」など、ほこみちの可能性を感じられる、様々な意見やアイデアがありました。



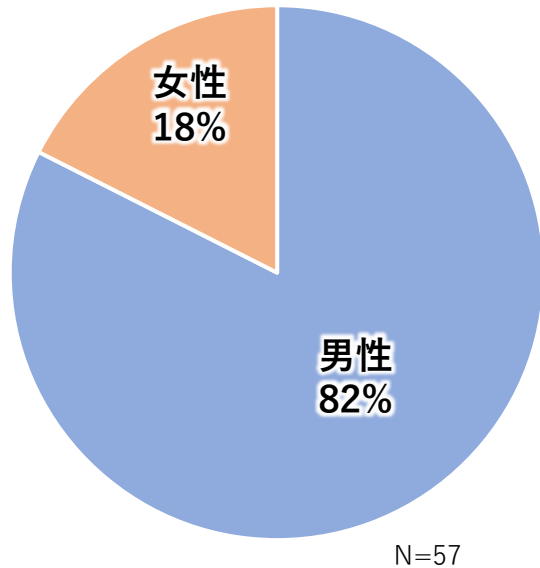
# 1. “ほこみち 長崎未来シンポジウム 2024”の開催状況

## 【シンポジウム参加者のアンケート結果】

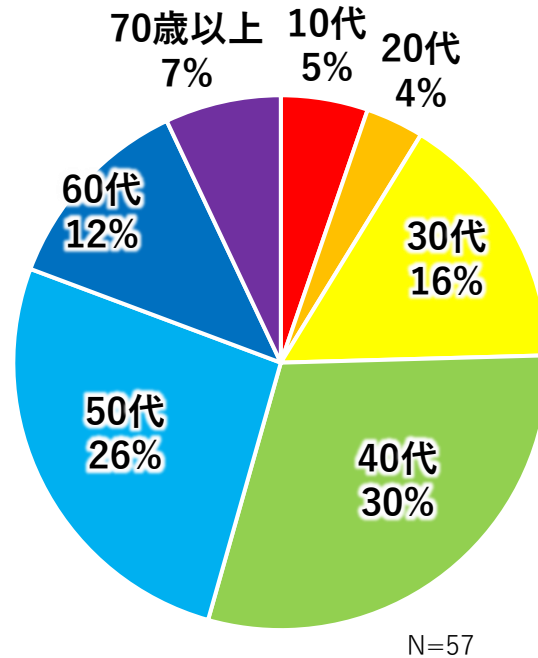
- ・シンポジウム参加者全員（57名）からアンケートを回答
- ・40代～50代の参加者が半数以上を占めているが、10代～30代の若年層の方の関心も一定程度ある
- ・長崎市内の参加者が約8割と多くを占めているが、市外・県外の方の関心も一定程度ある

### 回答者属性

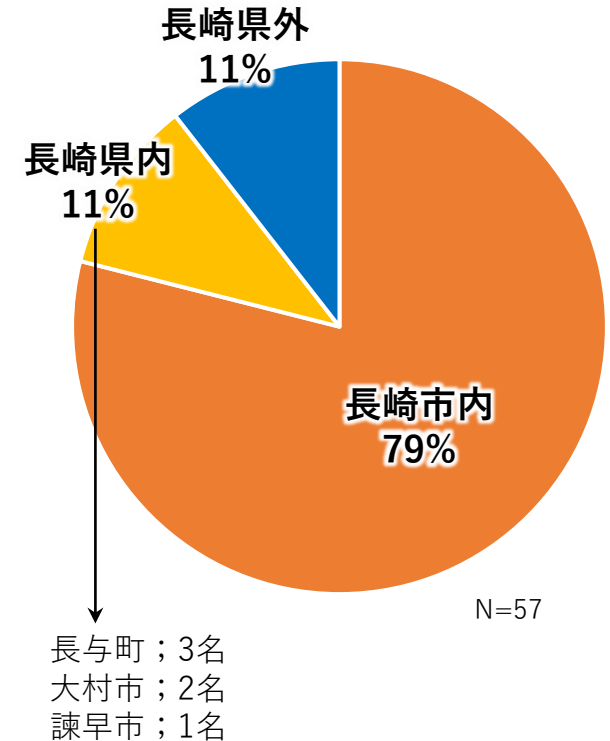
#### <性別>



#### <年代>



#### <居住地>



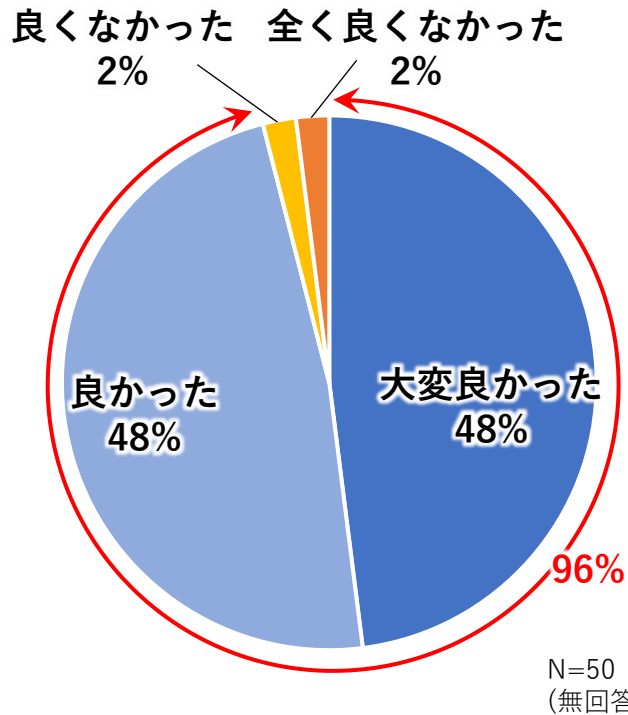
# 1. “ほこみち 長崎未来シンポジウム 2024”の開催状況

## 【シンポジウム参加者のアンケート結果】

- ・シンポジウムについて、“良かった”と回答した方が9割以上
- ・今後の国道34号(桜町～万才町間)について、“長崎街道として歴史が感じられる道路”になれば良いと回答した方が約6割

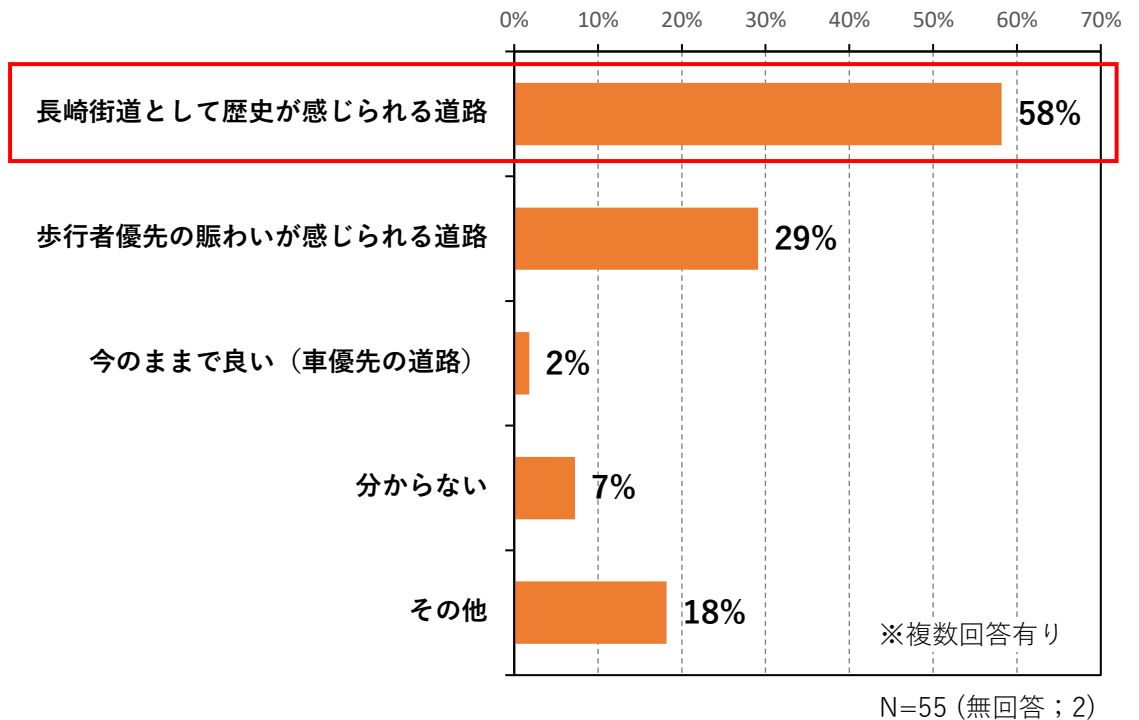
### 本日のイベントについて

問：本日のイベントはどうでしたか？



### 今後の国道34号(桜町～万才町間)について

問：国道34号が将来どのような道路になれば良いと思いますか？



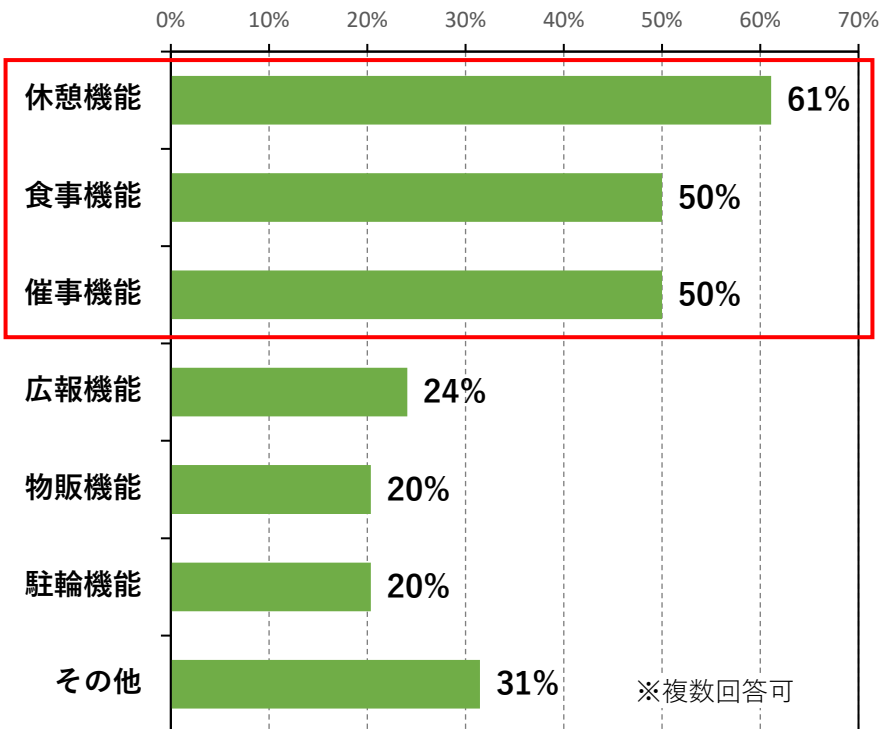
# 1. “ほこみち 長崎未来シンポジウム 2024”の開催状況

## 【シンポジウム参加者のアンケート結果】

- ・ 今後の国道34号(桜町～万才町間)にあれば良いと思う機能について、“休憩機能”、“食事機能”、“催事機能”と回答した方が上位

## 今後の国道34号(桜町～万才町間)について

問：国道34号に将来どのような機能があれば良いと思いますか？



- 休憩機能（テーブルやベンチなどを設置して、ゆっくり休憩できるスペース）
- 食事機能（オープンカフェやキッチンカーなど、食事やテイクアウトのできる店舗を設置するスペース）
- 催事機能（地域の催し、展示会、演奏会など、小さなイベントができるスペース）
- 広報機能（地域のイベント情報や観光施設情報、案内看板、広告などを設置するスペース）
- 物販機能（おみやげ、地元の特産品などを販売する露店を設置するスペース）
- 駐輪機能（シェアサイクルなど、中心部を回遊するための自転車を駐輪するスペース）

N=54（無回答；3）

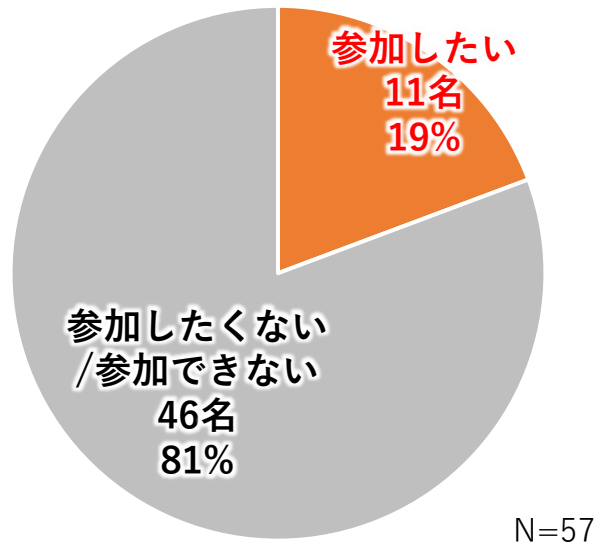
# 1. “ほこみち 長崎未来シンポジウム 2024”の開催状況

## 【シンポジウム参加者のアンケート結果】

- ・ワークショップに“参加したい”と回答した方が約2割
- ・自由意見として、「本日の感想」や「やってみたいアイデア」など35名（約6割）から回答

## ワークショップの参加意向について

問：あなたもワークショップに参加してみませんか？



### 【開催日時】

2024年3月19日(火) 18:30～20:30

### 【開催場所】

長崎商工会議所 2階ホール

※参加自由(無料)

ワーク  
ショップの  
開催予定

## 自由意見(主な意見)

問：本日の感想、やってみたいアイデアなど

- 健康増進のためのウォーキングロードとして整備
- 歴史を感じられる通り、ゆっくりひと休みできる施設
- 他市町村に無い歴史に特化した賑わいのある道（VRの活用）
- 踊り町、庭見世カフェ、シャギリの音を流す
- モビリティ(セグウェイ、グリスロなど)を使って歴史散策できるような新さるくコースを整備
- 歩行者天国や軽トラ市(朝市)を定期的で開催
- 畑や花を植えて楽しむスペースを整備
- 散歩出来るプロムナードの整備
- 図書館の本を借りて外で読むことができるスペース
- 小さい子供を歩かせて楽しませる仕組み
- 通り名が必要 など

## 2. 関係者へのヒアリング調査結果

- ・地元関係者や市民団体、沿線事業者等を対象として、「①国道34号の課題」や「②“ほこみち”に期待すること、やってみたいこと」、「③今後留意すべきこと」について、ヒアリング調査を実施

### ①国道34号の課題について

意見分類	主な意見
周辺環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日はオフィスが閉まっているため人通りが少ない。</li> <li>・県庁、市役所も無くなり人通りが少ない。おくんちと精霊流しの時くらいしか市民は国道34号には行かない。</li> <li>・空き店舗も増え、ビルもどんどん空室になっている。過疎化が進んできている。</li> <li>・子供が自由に遊べる場所がない。</li> <li>・飲食店が少ない。昼食はお弁当を買って済ますことが多い。</li> </ul>
道路構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常設で置くものは今の歩道では狭い。ほこみちとして使えるようになったときに圧迫感が出てしまうのではないか。</li> <li>・座るところ、雨宿りするところがない。おくんちの時も座るところがあまりない。</li> <li>・道が凸凹している。点字ブロックの整備がされていない。</li> </ul>
歴史・地形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史はあるが見える化ができていない。モニュメントもないし、石垣も顕在化できていない。</li> <li>・国道34号には坂を登らないといけなから、下の人はなかなか登ってこない。何かインパクトのあるものをしないと登ってこない。</li> </ul>

## 2. 関係者へのヒアリング調査結果

### ②“ほこみち”に期待すること、やってみたいこと

意見分類	主な意見
休憩施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休憩スペースがあるとビジネスマンが<b>外でお弁当を食べる</b>というスタイルが広がるかもしれない。</li> <li>・ マンションが増えてきているので、<b>ベンチ</b>は良いかもしれない。</li> <li>・ 都会的な<b>おしゃれな椅子</b>を設置する。<b>若者のアートの発信の場</b>としても活用できる。</li> </ul>
物販・飲食施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>長崎のソウルフードが楽しめるキッチンカー</b>。</li> <li>・ <b>朝市、マルシェ、カフェ、軽食屋</b>など。</li> <li>・ コーヒーを飲みながら打ち合わせができる<b>イートイン、コワーキングできる場所</b>。</li> </ul>
イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ たまに歩行者天国にして<b>イベント</b>をしたり、そんな通りになって欲しい。</li> <li>・ <b>興味を惹く物の設置やアート展示</b>などができれば良い。</li> <li>・ フォークソングなどの<b>音楽イベント</b>の実施。</li> </ul>
観光・歴史施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケンカ坂など、<b>歴史的なスポット</b>を見どころにしてほしい。<b>歴史と文化に資する看板や取り組み</b>。</li> <li>・ 通りの<b>景観が整って</b>いて、イベントをやらなくても人が集まる空間、「<b>文化と歴史の道</b>」のイメージで豊かなエリアになって欲しい。</li> <li>・ <b>文化とか芸術の発信の場</b>にした方が良い。日本初のものがあったりとか、和華蘭文化を発信する長崎になって欲しい。</li> </ul>
防災施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水害や災害についての<b>防災教育に関するパネルの設置</b>。</li> </ul>
運用・制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>アダプト制度</b>※をもっと広げて、一般の人でも参加できるようにしていくのも良い。</li> <li>・ <b>時間によって4車線、2車線になる</b>など、フレキシブルに使えるようにするのはどうか。</li> <li>・ <b>駅前から浜町の回遊性</b>をしっかりと持たせる必要がある。</li> <li>・ <b>通りに名前をつける</b>。通りの<b>案内プレートを設置</b>する。</li> <li>・ <b>情報ブースの設置と明るさの確保</b>。</li> </ul>

※アダプト制度とは、公共施設の維持管理を公共で行っていたものを、市民団体や企業等の団体が公共施設の一部を責任をもって維持管理を行っていく制度



## 2. 関係者へのヒアリング調査結果

### ③ 今後留意すべきこと

意見分類	主な意見
交通面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住んでいる人は多いし、塾とかの送り迎えとかもあるので<b>駐車の際は車の出入りの邪魔にならないように</b>。</li> <li>・キッチンカーは<b>交通上の問題が無いように</b>。</li> <li>・<b>バスの運行の邪魔にならないように</b>。</li> <li>・消防署があるので、<b>緊急車両の出入りの妨げにならないようにする</b>。</li> </ul>
環境面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルコールを提供するお店が遅くまで営業していると、<b>騒音的な問題</b>があるため避けて欲しい。</li> <li>・ベンチ等を置いたら逆に<b>ゴミの問題</b>が気になる。</li> <li>・カフェやベンチを作った際の<b>衛生面の管理</b>。</li> </ul>
運用面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>管理やメンテナンス</b>を誰がするのか。</li> <li>・歓楽街ではないので、<b>朝と夜の時間の制限</b>をして欲しい。</li> <li>・<b>消防署との連携は必要</b>。</li> <li>・規制を作るよりも、<b>活用をしながらルール作りを関わる人でやっていくのが良い</b>。</li> <li>・キッチンカーなどは良いと思うが、<b>既存の飲食店との兼ね合いも配慮が必要</b>。</li> </ul>
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>県庁舎跡地、市役所跡地の活用がある程度見えないと先に進めない</b>。同時に進めないといけない。</li> <li>・<b>国道34号だけでなく、エリア全体で見なければいけない</b>。</li> </ul>

### 3. シンポジウムとヒアリング結果のまとめ

#### <シンポジウムで出された主な意見>

- ・“長崎街道として歴史が感じられる道路”になれば良い
- ・“休憩機能”、“食事機能”、“催事機能”があると良い

⇒ゆっくりひと休みできる施設  
 ⇒畑や花を植えて楽しむスペース  
 ⇒歴史散策できるような新さるくコース  
 ⇒歴史に特化した賑わいのある道  
 ⇒庭見世カフェ  
 ⇒ウォーキングロード  
 ⇒通り名をつける  
 ⇒軽トラ市(朝市)

など

#### <ヒアリングで出された主な意見>

- ・休憩施設、物販・飲食施設、イベント、観光・歴史施設、防災施設、運用・制度等に関する意見が多数

⇒外でお弁当を食べる休憩スペース  
 ⇒興味を惹く物の設置やアート展示  
 ⇒歴史と文化に資する看板  
 ⇒音楽イベント  
 ⇒防災教育に関するパネルの設置  
 ⇒通りに名前をつける  
 ⇒朝と夜の時間の制限  
 ⇒朝市、マルシェ、キッチンカー

など

#### 今後のワークショップにおいて必要となる意見

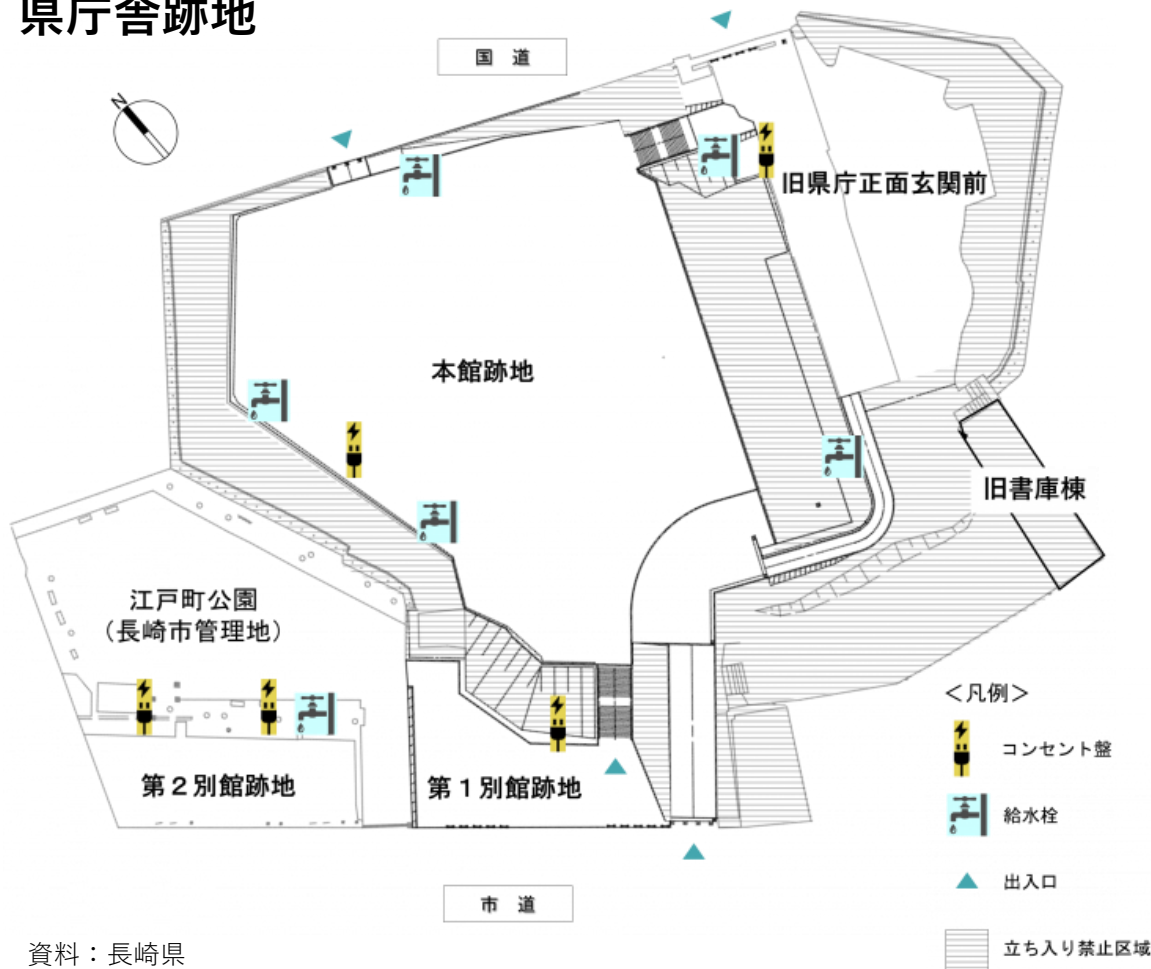
- ・まちづくりの視点からみた、国道34号の今後の在り方や求められる機能など
- ・地元の視点からみた、国道34号の今後の在り方や求められる機能など
- ・交通面、環境面、運用面など、道路空間の再配分にあたって留意すべき事項など

今後、ほこみちの検討を進めるにあたり、各関係機関の立場からの意見・要望等

# 4. 県庁舎跡地でのイベント状況

- ・ 関係者へのヒアリング調査結果から出された意見のとおり、国道34号だけではなく、県庁舎跡地や市役所跡地の活用など、エリア全体で検討していくことが必要
- ・ 現在の県庁舎跡地は暫定供用として、基本構想に掲げる主な3つの機能（広場・情報発信・交流支援）の具体化に向けた課題等を確認・検証するため、県民への貸付によるイベント等を行っていく中で、利用者へのインタビュー・アンケートを実施中

## 県庁舎跡地



# 4. 県庁舎跡地でのイベント状況

・県庁舎跡地での各種イベントにより多くの集客や賑わいが創出されている

**長崎大縁日** : R5.10.7(土)～10.9(月祝) (約6万人)

・長崎くんちに寄与するイベント

- 熱気球係留フライト
- LIVEイベント (音楽&ダンス)
- 無料休憩スペース
- キッチンカー
- 飲食、物販、ゲームブース
- 県庁舎跡地の歴史等PR
- ステージイベント 等



**ナガサキアオゾラ市場** : R5.11.12(日)  
**まち歩き双六大会** (約1,000人)

【アオゾラ市場】

- ・伊王島朝市 (浜焼きコーナー、飲食ブース、ヤギ餌やり体験、遊び場など)
- ・長崎県物産館 (県産品の販売)



ナガサキアオゾラ市場

**ナイトマルシェ** : R5.8.25(金)～8.26(土) (約1万人超)

- ・雑貨と食のナイトマルシェの開催 (キッチンカーを含め40店舗以上が出店)
- ・飲食・休憩スペースを設置



【まち歩き双六大会】

- ・長崎のまちを大きな絵双六にたとえて、参加者自身が双六の駒となり、サイコロの目の数だけ、歴史の舞台となったポイントを巡るイベント



まち歩き双六大会

県庁舎跡地の暫定供用期間における利活用状況  
(R4.10.31～R6.1.31)

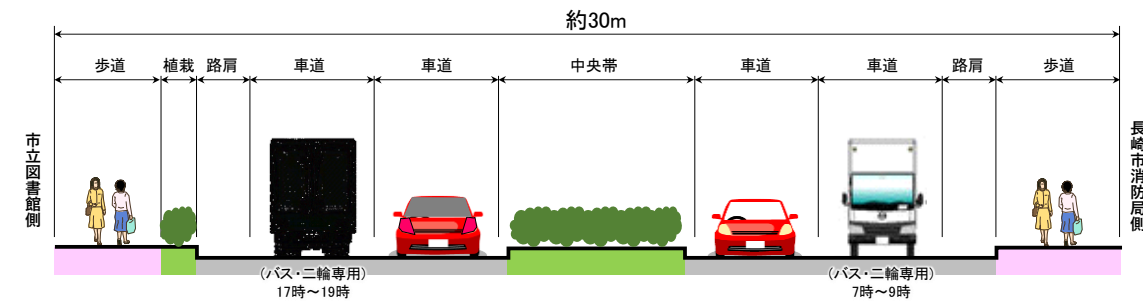
- ・レクリエーション
- ・アウトドアイベント
- ・ミニコンサート
- ・集会、会議、交流会
- ・映画上映会
- ・バーベキュー
- ・花火
- ・物販、マルシェ 等

# 5. 国道34号の幅員構成

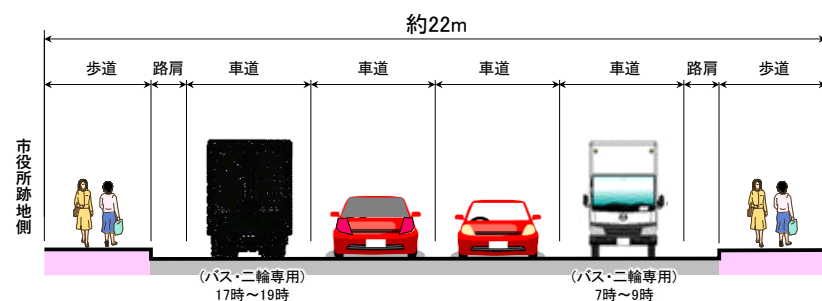
- ・ 指定区間の車線数は4車線で、中央帯が有る幅員が広い区間と中央帯が無い幅員が狭い区間が存在
- ・ 歩道は、歩行者等が通行するために必要最低限の幅員であることから、道路交通状況等を踏まえながら、賑わい空間の創出に向けた工夫・調整が必要



現況横断図（中央帯が有る区間：市立図書館付近）



現況横断図（中央帯が無い区間：市役所跡地付近）

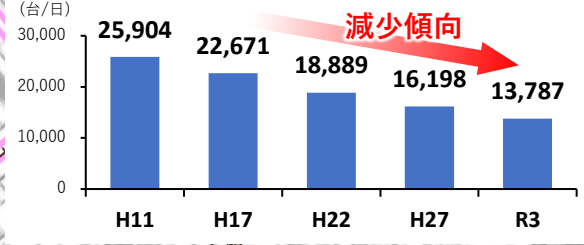


# 6. 道路交通状況 (自動車)

・ 指定区間の混雑度は1.00以下であり、混雑することなく円滑に走行



< 指定区間の自動車交通量の推移 >



【指定区間の道路交通状況】

車線数	4車線	
自動車交通量	13,787台/日	
混雑度 (交通量 ÷ 交通容量)	0.47	
大型車混入率	19.9%	
混雑時 旅行速度	上り	18.8km/h
	下り	15.3km/h
昼間非混雑時 旅行速度	上り	19.6km/h
	下り	17.0km/h

データ：令和3年度 道路交通センサス

【参考】混雑度の解釈

混雑度	交通状況の推定
1.00以下	道路が混雑することなく、円滑に走行できる。
1.00～1.25	道路が混雑する可能性のある時間帯が1～2時間あるものの、何時間も混雑が連続する可能性は小さい。
1.25～1.75	ピーク時間帯はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性が高い状態。
1.75以上	慢性的な混雑状態。昼間12時間のうち混雑する時間帯が50%を超える。

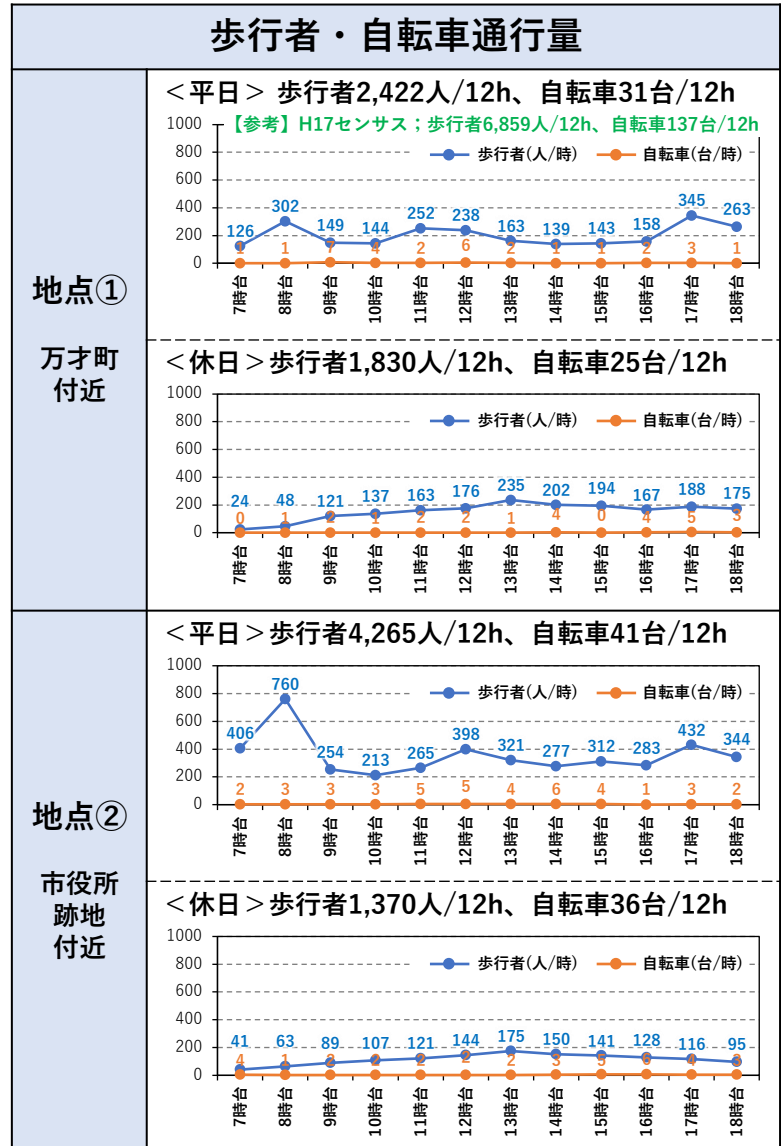
出典：道路の交通容量 (日本道路協会)

ながさき  
長崎市

至 諫早市

# 6. 道路交通状況 (歩行者・自転車)

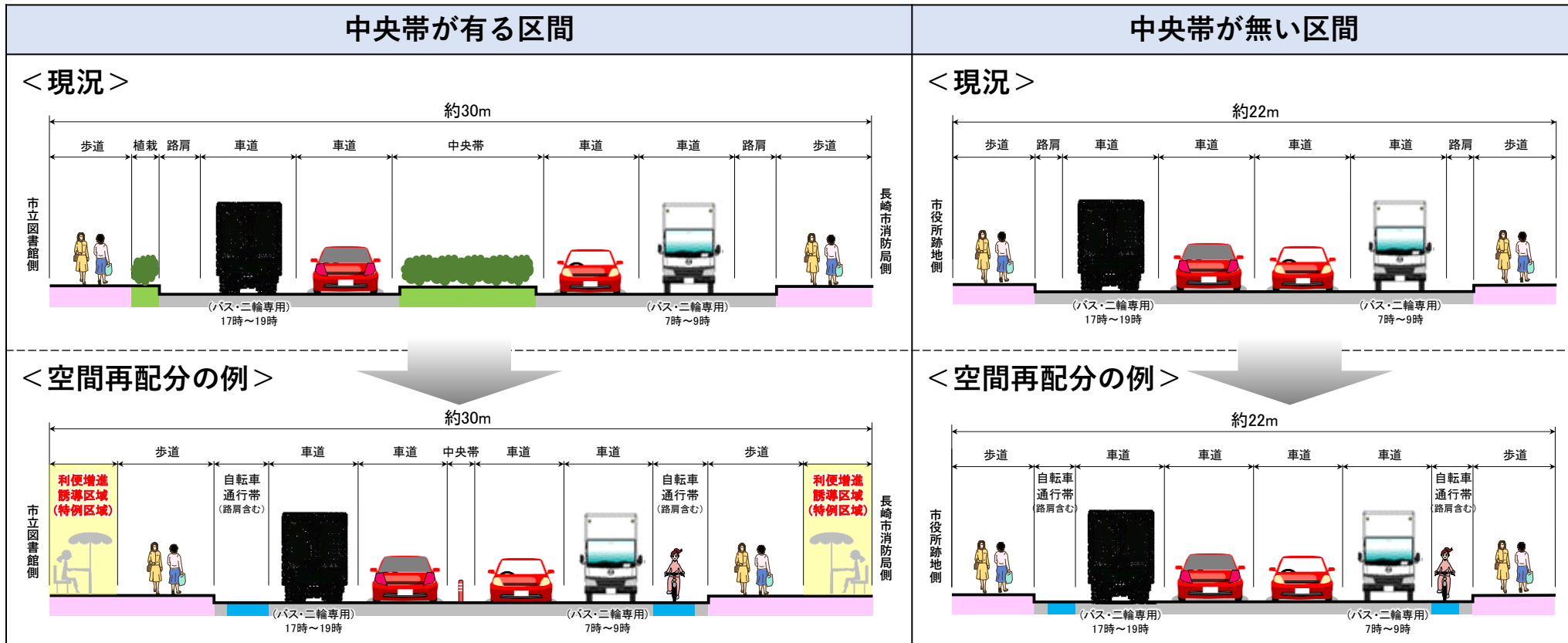
・歩行者数は約1,400~4,300人/12hで、休日に比べて平日(特に通勤時間帯)の方が多く通行



# 7. 指定区間の空間再配分のパターン(例)

- ・4車線のまま空間再配分した場合、中央帯が有る区間では、中央帯等を縮小することで、最大2.5m程度の賑わい空間(特例区域)の創出が可能
- ・中央帯が無い区間では、幅員の関係により、賑わい空間(特例区域)の調整が必要

## ① 4車線のまま空間再配分したパターン(例)



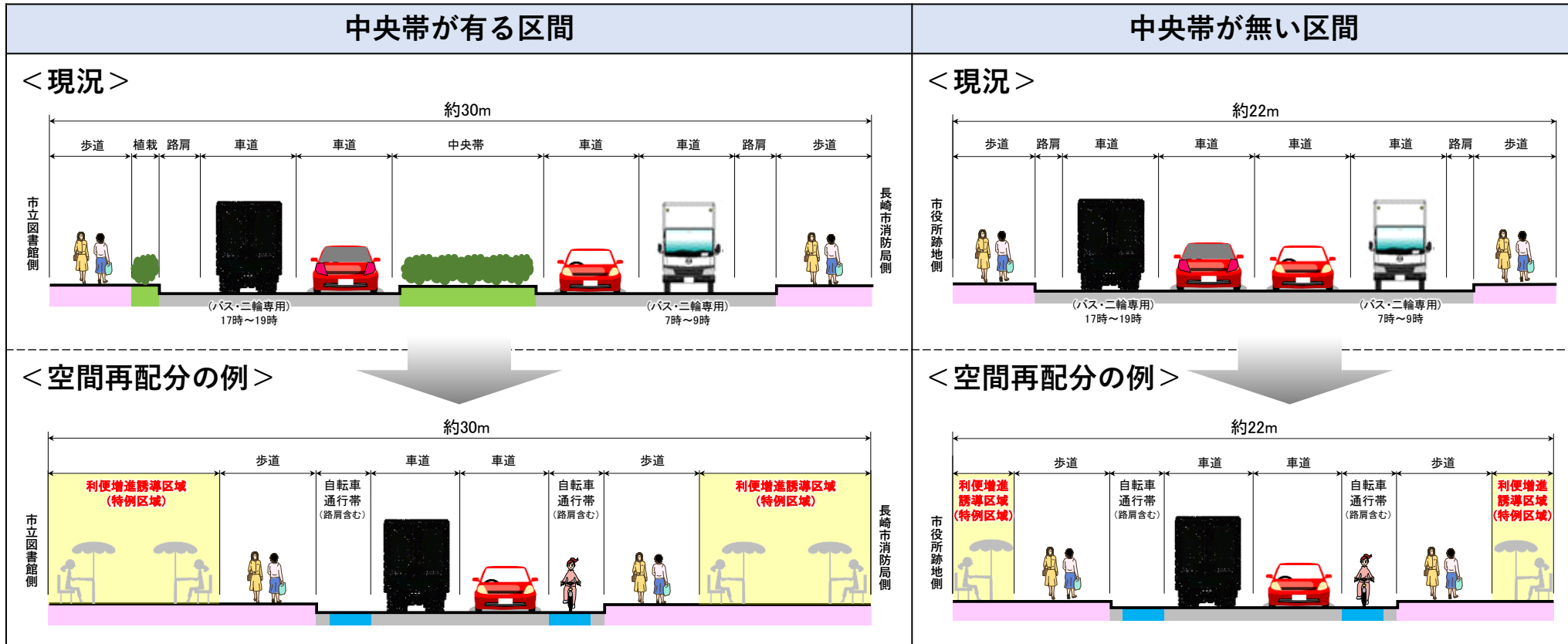
道路交通への影響等を踏まえて、具体的な空間再配分のあり方を今後検討



# 7. 指定区間の空間再配分のパターン(例)

- ・ 4車線から2車線に空間再配分した場合、中央帯が有る区間では、中央帯や車道等を縮小することで、最大約6m程度の賑わい空間(特例区域)の創出が可能
- ・ 中央帯が無い区間では、最大約2m程度の賑わい空間(特例区域)の創出が可能

## ② 4車線から2車線に空間再配分したパターン(例)



道路交通への影響等を踏まえて、具体的な空間再配分のあり方を今後検討

## 8. 今後の進め方(案)

- ・ 検討委員会を通じて、各種調査や整備計画の検討、社会実験等を実施し、地元住民・団体・事業者や道路利用者等からの意見収集、周辺道路への影響等を検証
- ・ 問題が無ければ、道路空間の再配分・維持管理等の調整を行い、「特例区域」を指定して運用を開始（具体的な運用開始時期は未定）
- ・ 検討委員会と並行してワークショップを開催し、意見・要望・アイデア等を収集して、適宜、検討委員会へ提言

### ■今後の進め方(案)

#### ほこみち長崎未来検討委員会

R5. 4.28 歩行者利便増進道路（ほこみち）の指定

R5.11.21 第1回 ほこみち長崎未来検討委員会

- ・ ほこみち制度の趣旨説明
- ・ 今後の予定・進め方(案)の確認

R6.3.11 第2回 ほこみち長崎未来検討委員会

- ・ 交通状況、ニーズ等の確認、道路空間の再配分(案)の協議

第3回以降

- ・ 社会実験の取組(案)の協議、実施、検証・・・R6年度予定
- ・ 道路空間の再配分の方針、事業スキームの調整 等

道路空間の再配分

特例区域の指定

運用開始

#### ほこみち長崎未来ワークショップ

地元団体・企業・住民等からの意見・要望・アイデア等を収集

R6.1～2月 関係者へのヒアリング調査

R6.2.10 ほこみち長崎未来シンポジウム 2024

R6.3.19予定 第1回 ワークショップ

第2回以降

- ・ 現地視察、アイディア検討、社会実験に向けた調整・・・R6年度予定
- ・ 社会実験の振り返り、今後に向けて 等

収集した意見等の提言